

リアルタイム性とインターネット通信を実現 通信費無料で内線FAXが利用できる

IP網の普及に伴い、FAXにもIP対応が求められている。だが、既存のT.37準拠のインターネットFAXでは、リアルタイム性が犠牲になるほか、ダイレクトSMTP機能を利用した場合は、イントラネットを構築できる大企業しか利用できない。ムラテックではDDNSを採用して、2つの問題を同時に解決したIP-FAXを開発。中小企業を中心に高い導入実績を築いている。

ムラテック販売と村田機械(以下、ムラテック)は、1972年の設立以来、30年以上にわたってFAXの開発・製造・販売を手掛けてきた。現在主流のMFP(複合機)は、コピー機をベースに文書管理機能を付加した製品が多いが、ムラテックではFAXとネットワーク機能に重点を置いた製品を開発している。

同社は昨年、MFP「ファブリコ」シリーズのネットワーク拡張キットを投入した。インターネットFAX、PC-FAX送受信、ネットワークスキャナー、ネットワークプリンターを一体化したもので、「インフォメーションサーバー@Web」と呼称している。これ

を標準装備して「Isモデル」とし、プリンター機能を標準装着した「Pモデル」とともにラインナップに加えた。

特徴は、本体にWebサーバー機能を搭載し、文書の閲覧から管理まで含めた、すべての設定と操作をクライアントPCの汎用Webブラウザで行えるようにした点だ。これにより、操作を容易にしたほか、PCごとに専用ソフトウェアをインストールしたりアップデートする手間を省いた。

今年2月には、新ファブリコ「V-2800/V-2300」シリーズのIsモデルを市場に投入。新しいネットワーク拡張キット「インフォメーションサーバー+Plus」を搭載した。ネットワ

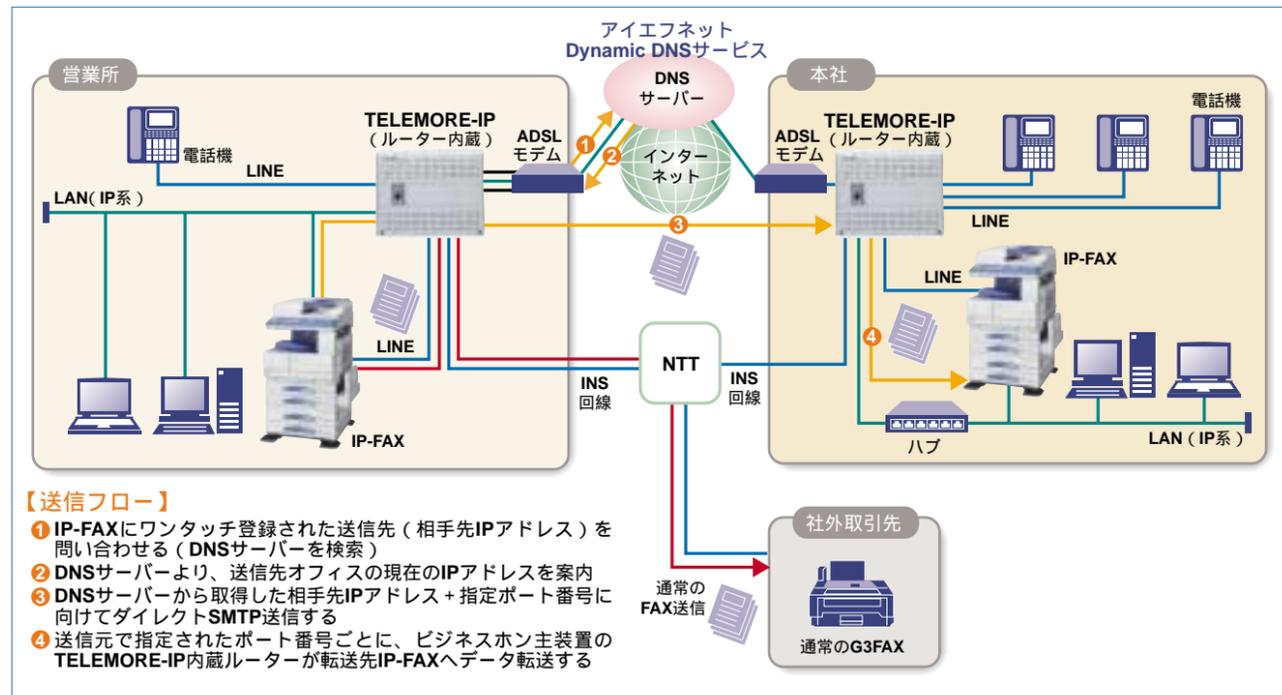


取締役
販売本部長
森 秀樹氏

ーク機能の強化はもちろん、操作性の向上にも注力。音声ガイダンス機能と5.8インチの大型・高機能タッチパネルディスプレイを搭載した。

DDNS採用で2つの問題を解決

IPネットワークの普及に伴い、企業ユーザーからは「内線FAX通信もIPで行い、通信コストを削減した



【送信フロー】

- 1 IP-FAXにワンタッチ登録された送信先(相手先IPアドレス)を問い合わせる(DNSサーバーを検索)
- 2 DNSサーバーより、送信先オフィスの現在のIPアドレスを案内
- 3 DNSサーバーから取得した相手先IPアドレス+指定ポート番号に向けてダイレクトSMTP送信する
- 4 送信元で指定されたポート番号ごとに、ビジネスホン主装置のTELEMORE-IP内蔵ルーターが転送先IP-FAXへデータ転送する

図 IP-FAXサービスの概要

い」というニーズが高まっていた。

こうした要求にはこれまで、一般にITU-T T.37勧告に準拠したインターネットFAXで対応していた。圧縮したFAX画像をTIFF形式ファイルの形でEメールに添付して送受信する仕組みだ。だがこれは、メールサーバーを介した蓄積交換方式であるため、FAXの重要なポイントである「リアルタイム性」が損なわれるという問題があった。また、T.37方式の拡張機能であるダイレクトSMTP機能では、リアルタイムに1対1で送受信できるが、IP-VPNなどのイントラネットが必要なため、これらの環境を構築できる大企業ユーザーに利用が限られていた。これら2つの問題を一度に解決する技術が必要とされていたのだ。

ムラテックが目指したのは、「Dynamic DNS(DDNS)」だった。接続のたびに変わるIPアドレスと登録されたドメイン名(ホストの名前:ここではIP-FAXを指す)を、自動的に結びつける技術だ。

特別寄稿

IP-FAXの可能性

藤島信一郎



IP時代が到来し、ファクシミリにも「インターネットFAX」が登場してきた。そこへ、「IP-FAXの登場」である。

なぜIPになるかといえば、「コスト削減」が最大の理由であり、「音声とデータの統合による新コンテンツ、新アプリの利用」が目指すところである。

「IP-FAX」は、リアルタイム性と、イントラネット環境がない中小企業への適用など、従来のインターネットFAXの問題点を解決している。さらに、600dpiというコピー並みの画質のデータが送信できたり、Eメールで使われているSMTPなどを利用して、メール通信とFAXの融合や電話とFAXを合わせたIP化が可能である。

この技術を利用し、IP-FAX通信時にDDNSサーバーに送付先のIPアドレスを問い合わせ、得られたIPアドレスに直接(ダイレクトSMTP)送信すれば、リアルタイム性とインターネット上での送受信が可能になる。イントラネットを構築できない中小企業ユーザーでも、ブロードバンド・インターネットの接続環境さえあれば、通信費無料で内線FAXを利用できるようになる。

ムラテックは今年4月、Isモデルに「DDNS対応IP-FAX機能」を追加した「IPモデル」を市場投入した。ムラテック販売の販売本部長である森秀樹取締役は、「当時リアルタイム性とネットワークの問題を同時に解決した製品は他社にはなく、業界初といえる」と強調する。

本製品は、ブロードバンド環境を利用して送信するため、最大でG4FAXの約7倍の高速電送が可能だ。具体例をあげれば、超高画質データも約30秒で相手側に出力できるので、従来型FAXの標準画質

ふじしま・しんいちろう。大手PBXメーカーで、自らネットワーク設計を手がける敏腕SEとして活躍。情報通信分野の市場動向、技術動向に関して卓越した知識を有する。現在、通信コンサルタントとして、ユーザー企業通信機器ディーラーへのコンサルティング活動を精力的に展開している。

ユーザーは既設のインターネット接続環境を利用すれば、新たに契約料や月々の費用がかからない等々、業界初のインパクトに溢れた製品となっている。

この製品が市場に浸透することで、仕様がデファクトスタンダードになるだろう。

送信と同じ時間で、600dpiというコピー並みの画質のデータを送信できるという。

IP電話サービスとセットで提供

IPモデルは、ムラテックのパートナーであるエフティコミュニケーションズと共同で販売している。

エフティコミュニケーションズは岩崎通信機と合併してISP会社「アイエフネット」を設立し、IP電話サービス「アイエフネットIP-Phone」を提供中だ。これにIP-FAXサービスを付加し、セットでの提案を行っている。4月にサービスを開始してから半年以上が経過したが、森取締役によれば、「当初計画した数字を大幅に上回る実績を達成している」という。

今後は、さまざまなIP電話サービスに対応し、さらなる拡販を狙う。そのためには、販売代理店のIPに対するスキルアップが重要になる。

このため同社では、ネットワークビジネス推進課を中心とした販売支援チームを組織。販売店の営業部員を対象としたIP勉強会を定期的に開催中で、今後も注力していく方針だ。

また、保守サポート体制の充実も図っている。森取締役は、「現在はIPやネットワークのことはムラテックに「ご相談」というレベルだが、人材とスキルの強化を図り、「おまかせいただく」レベルに向上させていく」と意欲を語っている。

お問い合わせ先

ムラテック販売株式会社
京都市伏見区竹田向代町136
TEL: 075-672-8136(販売本部 販売企画室)
E-mail: mh-faprico@syd.muratec.co.jp
URL: http://www.faprico.com